

# 人権だより

(令和6年度1月号)

川之石高校人権委員会 担当 1年次1組

## ～ 3年次 第3回 人権・同和教育ホームルーム活動 ～

1月10日(金)の6限目に、3年次生を対象として「デートDV」に関する講座が行われました。講師は大洲市人権擁護委員の方々です。1・2年次生のみなさんは、「デートDV」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。誰にでも起こり得る身近な問題です。今月号では、その講座の様子や3年次生の感想を紹介します。

### 3年次生の感想より

○デートDVは大きく4つの暴力に分類されることが分かりました。身体的暴力・精神的暴力・性的暴力・経済的暴力です。私が知っていたのは、身体的暴力だけでした。もし友だちから「デートDVを受けている。」と相談があったら、否定をせずまずはじっくりと話を聞いてあげることが大切だとわかりました。また恋人と付き合うことによって、自分らしさが表現しにくくなる人がいるということも知りました。自分の気持ちばかりを優先せず、相手の気持ちも尊重できる人になりたいです。

○自分で気がつかないうちに暴力にあたる行為をしていないか、自分の行動を振り返らないといけないと思いました。「男性だから」とか「女性だから」とかいう決めつけで判断してしまいがちなので、そうならないようにしたいです。配られた資料の中に、「『誰か』のことじゃない。」と書いてあり、本当にその通りだと思いました。自分のこととしてとらえて行動していきたいです。



○言葉は聞いたことがあったけど、今回の講座を通して人に説明ができるまでに知識がついたと感じます。この講座を受けるまで、デート中に起こることだけがデートDVだと勘違いしていました。しかし、その後人に相談したときにも被害が起こることがあるのだと知りました。相談を受けた人も言動に気を付けなければいけません。私はこの「相談」の中で取るべき言動についてこそみんなが知るべきだと思います。デートDVを受けた人を助けられる可能性があるのはこの相談を受けた人

です。自分は「人に頼ってもらえる人になろう。」と思うことで、自分がデートDVをしてしまうこともなくなると思います。

○デートDVは身体的な暴力だけだと思っていました。言葉による暴力の被害や、経済的な被害を受けることもあるのだと知りました。デートDVの講座で、いかに「人に寄り添う」ことが大切なのかを知りました。自分は今まで人に寄り添うことができていなかったなと思いました。今回知ったことをきっかけにして、行動を起こしていきたいです。友だちが気付かないうちにデートDVをしていたら「それはダメだよ。」とはっきり言えるようになりたいし、被害を受けている人に気がつくことができるようになりたいです。自分が誰かと付き合うことになったら、加害者にはならないようにしないとけません。今回学んだことを家族や友だちなど、周囲の人に伝えていけるようになりたいです。今回の講座は、自分にとってとても興味深いものでした。他のDVについても調べて、被害を減らすためには



どのような方法があるのかを知りたいと思いました。

○今回の講座でデートDVの具体的な例を知って、いつ自分の周囲で起きてもおかしくないことばかりだと思いました。付き合っている相手に自分という時間を長くしてほしくて、他の人との付き合いを制限したり、監視したりすることもDVに当たるのだと知りました。相手のことが好きだからこそ、してしまいそうなことがたくさんありました。お互いが嫌な気持ちにならないためにも、嫌なことは「嫌だ。」と言えるような関係を築いていくのが大切だと分かりました。また友だちから相談を受けた時には、否定をしたり、自分の考えを押し付けたりしてはいけな知りました。しっかりと話を聞いてあげて、正しい場所で相談ができるように促せるようにしたいです。どこで相談に乗ってもらえるかを知ることもできたので良かったです。

○DVは知っていたけど、デートDVという言葉は知りませんでした。お互いが相手のことを尊重できる人間関係を目指したいと思いました。また、相談を受けた時の適切な対応も学びました。卒業したら、今よりもっと多くの人と関わっていくこととなります。いくら親しい人とでも、絶対に自分だけの時間やスペースが必要だと思います。なんでも自分の思い通りにしようとするのではなく、お互いが納得できる関係を作っていきたいです。今回の講座を通して、今後の人間関係のあり方について考えることができました。自分勝手な行動をしたり、言葉をかけた

